

平成25年度 第1回 別府市立図書館協議会 会議録(要約)

【日時】 平成25年7月1日(月) 午後1時30分～午後2時30分

【場所】 別府市役所4F - 3会議室

【出席者】

<図書館協会委員> 土岐 修会長、高橋 伸子副委員長

秋月 順一委員、石川 順一委員、大林 みどり委員、

立川 敬子委員、平石 栄二委員

<事務局> 本田(生涯学習課長)、溝部(参事)、後藤(課長補佐)、中西(係長)

岩本(図書館長)、小松(副館長)、谷中(主任専門員)、宮原(主任)

【欠席者】 佐藤 瑠威委員

任命状交付

教育長から各委員へ任命状手交

教育長あいさつ

(寺岡教育長)

本日はお忙しい中、また御足下が悪い中、第1回別府市立図書館協議会に参加していただきましてありがとうございます。

先週、定例の教育委員会にて、皆様の委員の決議が行われました。皆さまには、新たに就任していただき、ありがとうございます。また平素より市立図書館教育に対して、教育行政、図書館運営等について、ご助言等をいただきますことに改めてお礼を申し上げます。ご周知のとおり、学校教育の場におきましては、各学校に学校図書館(図書室)が整備されています。現在、2校に1名の学校司書が配置していますが、将来的には、各学校に1

名の学校司書が必要だと思っております。そう意味で昨年度より、学校教育と別府市立図書館は、施設・運営等に関して、色々なご意見を伺っております。また議会でも毎年、新しい図書館建設についてのご質問がございます。市の財政が窮している状態ですが、図書館教育による幅広い読書が、きっと10年後、20年後、30年後、別府市の子どもたち市民の方に、図書館教育の理解、学力・資質の向上に寄与するものと思っておりますので、行政としましても、一步でも別府市立図書館の充実を目指して協力していけないと決意しているところでございます。

また協議委員の皆様方にも、専門的な立場から現行の図書館の運営について、よりよいものを育てていけないと思っておりますので、どうぞ色々なご意見、ご助言いただきまして、別府市の図書館協議会が充実するように、心からお祈りを申し上げて、簡単でございますが、あいさつとさせていただきます。

(進行)

ありがとうございます。

教育長は、他の公務がありますので、ここで退席させていただきます。

教育長退席

会長及び副会長の選出

(進行)

別府市立図書館管理規則第14条により、本会の会長及び副会長を選出させていただきます。この規則によれば、委員による互選となりますが、いかが取り扱いましょうか。案がございませんので、事務局から提案させていただきたいとおもいます。よろしいでしょうか。

委員の了承

(進行)

それでは、事務局案を提案します。

(岩本館長)

提案させていただきます。会長を土岐委員に引継ぎお願いいたしたいと思います。また、副会長に高橋委員にお願いいたしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(進行)

皆様、ご異議ございませんでしょうか。

委員了承

(進行)

委員の皆様のご了承をいただきました。土岐委員、高橋委員には、ご了解いただけますでしょうか。

土岐委員、高橋委員の了解

(進行)

ありがとうございます。それではここで、2人の委員には各々、会長及び副会長席にご移動をお願いします。

会長、副会長の移動

(進行)

ここで、改めまして、本会の会長に選任されました、土岐会長よりご挨拶をお願いします。

(土岐会長)

只今ご指名をいただきました、高橋、土岐でございます。たいへん微力でありますけれども、これから後、しっかり頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

先程、私が話しましたが、今季で3回目の会長ということになります。ちょうど、この協議会が発足したころは、新しい図書館が出来るという広報をしており、どんな図書館にするのかということが、話の中心でした。しかし突然、凍結されたという報告を受け、それ以来、中止という形で今日までに至っております。

図書館の増設の問題、駐車場の問題がありまして、駐車場については、昨年より2、3台確保したようになっていますが、図書館の拡充については、前が見えないという状況が続いております。協議会として、新しい図書館を目指すことが、一番の目標だと思うのですが、教育長の挨拶にもありましたが、財政的な面で何年後にどうしろということが難しい状況で進んでいるというのが現状だと思います。

だからといって、現状の図書館にて、運営や工夫をどうするだけの話だけで進んでいくと、永久に新しい図書館に結びつかないことにもなりますので、運営・工夫と合わせて新しい図書館を目指すということで、機会があるごとに少しずつ協議会でも取り上げたいという思いでいっぱいです。

これからの協議の話で、プラス面、マイナス面等の色々な面が出てくると思いますが、

できるだけ、市民の目線に立って出来るだけ利用しやすい、集まりやすい図書館づくりに関わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(進行)

ありがとうございました。

こののちは、説明及び協議となります。

管理規則第15条により、「会議の議長は会長が行う」ことになっておりますので、これより先の進行は、土岐会長にお願いします。

(土岐会長)

それでは、議長ということで、この会を続けていきたいと思いますが、議事に入る前に図書館協議会について、事務局より簡単に説明をお願いします。

(岩本館長)

資料

『平成25年度 第1回 別府市立図書館協議会』の【図書館協議会関係法規抜粋】参照

(土岐会長)

ありがとうございました。この協議会は図書館の行う図書館奉仕について、館長に意見を述べる事が中心の機関であります。施設問題や駐車場問題等々ありましたが、より良い図書館であるため、委員皆様のご意見をいただければと思っております。

それでは、議事にしがいまして、報告1「平成24年度運営状況」について、事務局からお願いします。

(岩本館長)

資料

『平成25年度別府市立図書館要覧』P7～ 参照

(土岐会長)

事務局の説明が終わりました。

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等はございませんか。

(立川委員)

P21の平成24年度の諸統計の中で、登録者数がありますが、新規登録者ということですか。

(事務局)

新規登録者数です。

(土岐会長)

他にございませんか。報告1については、よろしいでしょうか。

<委員の承諾>

次に議題1号の「平成25年度運営計画」について、事務局から説明をお願いします。

(1)～(4)までありますが、まとめて一括でお願いいたします。

(岩本館長)

資料 『平成25年度 第1回 別府市立図書館協議会』P2～ 参照

(1) 運営方針について

(小松副館長)

(2) 選書方針について

(岩本館長)

(3) 郷土資料整理について

(小松副館長)

資料 『平成25年度 第1回 別府市立図書館協議会』P12～ 参照

(4) 学校との連携について

(土岐会長)

事務局の説明が終わりました。ただいまの説明について、ご質問、ご意見等はございませんか。

(石川委員)

非常に団体貸出等について、色々考えていただいて感謝しております。逆に学校の方でも積極的に利用するような体制をつくらないといけないと思っております。

(土岐会長)

学校図書館の活用状況はどのようなになっていますか。

(小松副館長)

よく活用している学校は、全体の3割位です。中学校については、昨年度より、図書購入費の予算が増えていることもあり、小学校が中心です。各学校、団体貸出カードが最大3枚作成できますので、是非各学校で活用していただきたいと思っています。校長会でもご周知の程よろしく申し上げます。

(土岐会長)

図書費が、大幅に増えていることについては、いいことだと思います。

他に何かありますか。なければ、わたくしから質問があります。図書についてです。当然、図書購入を続けていけば図書が増えてきます。その際、古い本と新しい本の入れ替えにおいて、書庫の保管場所または、廃棄状況はどうなっていますか。

(小松副館長)

閲覧室の書架に置けない本は、書庫に保管していますが、現在書庫の保有状況は一杯です。1階と3階のスペースを借りて、何とかしているのが現状です。廃棄に関しては、中々難しいところがあります。箱詰め等で対応しておりますが、パンク状態です。

(岩本館長)

その件ですが、どうしても閉架書庫が1階や3階にあると、レファレンス等で本を探しに職員がでると、職員の負担が大きくなります。特に土日は、限られた予算で、職員を配置していますが、土日の来館者は、平日よりも多いですので、職員は目一杯働いているのが現状です。これからは、人員の予算要求をしていきたいと思っております。

また本が増えることで、閉架(特に3階)の本が増えます。忙しい時に席を離れ、閉架に本を探しに行くことは、大変面倒です。そういった図書館の狭さ・老朽化が、私たち図書館が抱える課題であります。

(土岐会長)

教育現場でも、図書の廃棄は難しいという現実がありました。箱詰めにしておいても、古い本のレファレンスに答えられる形にしておかないといけないと思っています。難しいと思いますが、利用者の目線で、対応していただきたいとお願いしたいです。

ほかにご意見ございませんか。今回は第一回ということもありまして、本年度の概要を確認する会です。特にハード面について予算との関わりがあり難しいので、今ある所をどううまく活用していくかを考えていくことが大事だと思います。

(平石委員)

高齢者、障害者向けの視聴覚資料はどうなっていますか。

(岩本館長)

当館の視聴覚資料として、大活字本、CD(朗読)があるひまわりコーナーがあり、視力が弱い方に対して、拡大鏡がございます。

(土岐会長)

視聴覚ライブラリーもありますので、相互貸借を活用しながらの資料の収集をしてもらいたいです。

(高橋委員)

わたしは、図書館協議員3期目になります。当初に比べて、図書館は大変充実してきています。図書館に行く度に、親しみやすい図書館づくりを感じます。しかし、蔵書は増えていますが、置き場もない問題、駐車場の問題等は、もはやハード面を解決するしかないと思います。これからの協議会については、ハード面について色々話ができたらと思います。

別府は観光都市ですが、住んでいる市民に対してもっと文化的な施設をつくり、色々な本に触れながら豊かな生活ができることを望んでいます。

(本田課長)

委員のおっしゃるとおりでありまして、議会でも質問がある所でございます。別府の総合計画の中で、新しい図書館の建設について検討することになっています。その反面、今ある図書にて、よりより図書館サービスを提供することについても大事なことであり検討していかなければいけません。現在の図書館が抱える問題についても、経費をかけずに対応している所もございます。図書館協議会は、館長の諮問に応じる機関として、そういったよりよいサービスについて議論していただきたいと思います。なので、新しい図書館については、つくるとなった際に、別の委員会にて考えていかないといけないと思います。我々も出来る範囲でやっていますので、ご理解を程お願いします。

(土岐会長)

新しい図書館について、数年は難しいということであれば、今のサザンクロス等のスペースを活用する取り組みをしてほしいです。視聴覚についても、図書館の視聴覚資料とサザンクロスの視聴覚資料の一本化も考えて欲しいです。同一の施設ですから、1階から4階をうまく使ってほしいと思います。子どもたちや市民が、ゆったりしたスペースで本が読めるために、今の図書館で最大限安く、うまく使ってほしいと思います。色々お金をかけた上で、新しい図書館という話は難しいと思いますので、是非工夫した図書館サービスを考えてほしいと思います。

(本田課長)

現在図書購入の予算は確保出来ていますが、所蔵スペースの問題で、蔵書の整理をしなければ開架スペースに影響がでるような状況です。その中で、工夫した蔵書の整理を検討しております。3階、4階は同じ課の施設ですので、将来的に講座やイベント等を整理して、1階から4階までをうまく活用していくことは検討課題だと認識しています。その機会がくれば、協議会にてご意見をたまわりたいと思います。

(土岐会長)

これからの協議会にて、そうした対応の方向性がみえればいいと期待しております。現在の図書館でソフト面がいくら充実しても、人を呼ぶ時に駐車場の問題は、避けられません。何か思い切った工夫をしないと、駐車場の問題は進まないと思います。駐車の問題については、各々がアンテナをはっていただきたいと思います。

ほかにご意見はございませんか。意見が出尽くしたようですので、本日の協議は以上をもって終了します。